

2011年度

科目名	ボランティア論				
担当教員	岡島 克樹				
配当	教福1・人社1			コード	45009
開期	前期	講時	木曜日5限	単位数	2
授業テーマ	「ボランティア」とは何か？				
目的と概要	<p>日本では、日本の社会システムの変化という長期的(構造的)背景とともに、阪神・淡路大震災などの短期的な要因をきっかけとして、ボランティア活動がより活発化し、一定の注目を受けるようになった。そして、2010年代以降の今日では、「新しい公共」という言葉が時代を表す1つのキーワードになり、サードセクターと呼ばれる社会の一部が一層活発になってきている。また、個人の観点からも、生きがいや人とのつながりを求めてますます多くの人がボランティア活動に従事するようになってきている。本講では、(1) ボランティアを戦後日本の歴史の中に位置づけ、その定義・背景思想・主要分野・担い手等における歴史的変遷を考えるとともに、(2)個人がどのようにしてボランティアに従事するのかその心理的なメカニズムを学び、さらに、(3)ボランティアが社会を構成する組織、たとえば学校やNPO、企業とどのように関係するのかを考えることを通じて、ボランティアという人間の行動、社会の現象について理解を深める。</p>				
成績評価法	(1)前期末レポート(90%)、(2)授業への参加(たとえば外部講師による授業への参加)(10%)を基に判断する。				
テキスト	とくに定めない。				
参考書	適宜、紹介する。				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	<p>本講では、予算の許す範囲において、大学の外にある人材を外部講師として学内に招き、ご自身が持っておられるボランティア体験について語っていただく。外部講師が話をされる回については必ず参加するようにしてください。</p> <p>なお、外部講師が来校される日程は当該外部講師のスケジュールに左右されるため、必ずしも講義計画にあるように11回目以降に集中するとは限らないので、注意すること。</p> <p>適宜、参考図書を伝えるので、可能な限りこれらに目をとおすことを奨励する。</p>				
講義計画					
<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに：ボランティアの経験—講座担当者の場合 2. 「社会」とは何か—社会を構成する3セクターと最近の動向 3. 「ボランティア」とは何か—ボランティア概念の基本5要素 4. 「ボランティア」とは何か—ボランティア概念の基本要素についての最近の考え(発展バージョン) 5. ボランティアを世界史のなかに位置づけ、ボランティア概念の変化を追う 6. 日本のボランティア史—戦前・戦後のボランティアを中心に 7. 日本のボランティア史—1970・1980年代における価値転換 8. 日本のボランティア史—ポスト戦後時代における公共 9. ボランティア増加施策—ボランティアと行政の動き 10. ボランティア増加施策—ボランティアと学校教育の動き 11. 外部講師によるレクチャー(海外青年協力隊OB) 12. 外部講師によるレクチャー(福祉系NPO代表) 13. 外部講師によるレクチャー(多文化共生系NPO代表) 14. ボランティアを始めるに当たっての留意事項・レポート作成の注意点 15. まとめ 					